

全国水産試験場長会 令和4年度会長賞

【受賞事業】

カワウ食性解析へのDNAメタバーコーディング法の活用による食害対策

【受賞者】

内水面研究所 静 一徳

【受賞理由】

カワウの全国的な生息数増加や生息域拡散により、水産業における被害が顕在化している。カワウの食性調査において、これまでの胃内容物調査は猟友会による駆除の時期や駆除個体の有無に左右されてきたが、カワウ糞のDNA分析により季節的な食性変化を把握することが可能となった。

本手法は少ない労力で成果が期待でき、カワウ被害防止対策を講じる上で大きな障壁となっている食性調査に飛躍的な発展をもたらす技術であり、地域の水産業の発展に大きく貢献するものと認められた。



表彰式【令和4年11月16日】

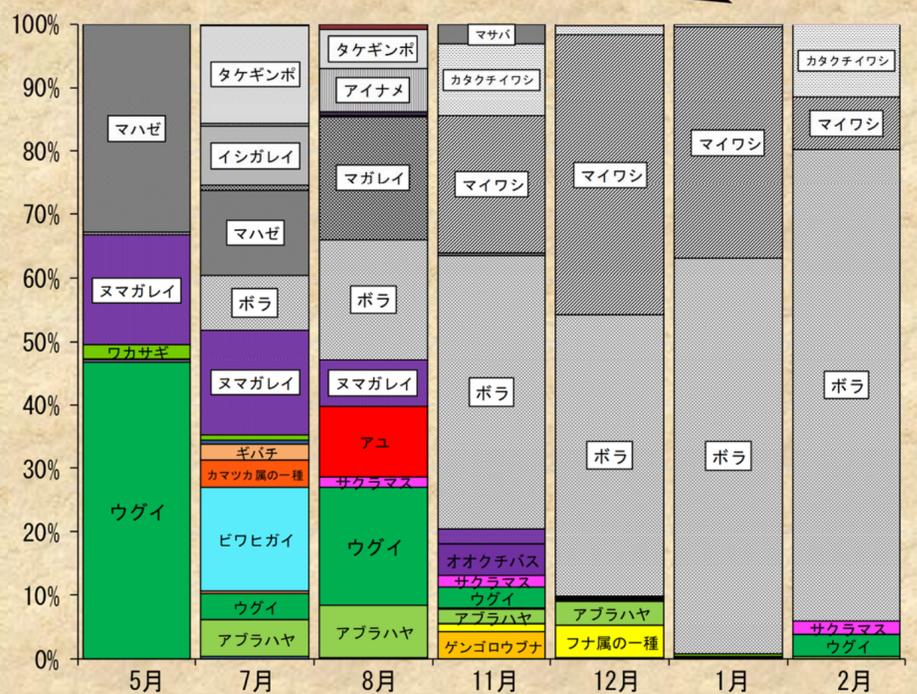
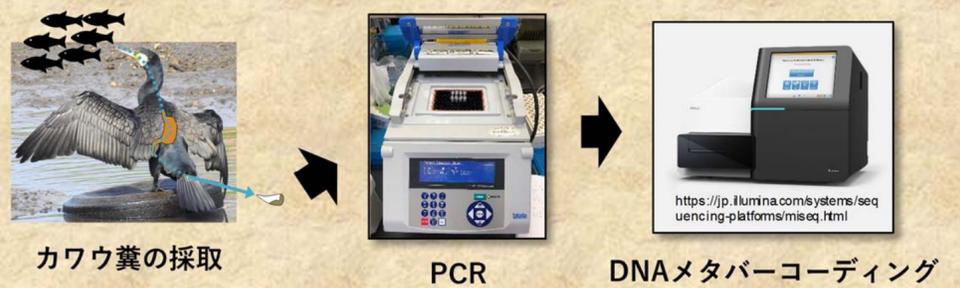


図. 八戸市のカワウ糞のDNAメタバーコーディング結果